

本愛

発行
天理教本愛大教会

〒453-0821
名古屋市中村区大宮町 1-60
TEL (052) 461-4326
MAIL mail@hon-ai.org
〒632-0071
奈良県天理市田井庄町 19-1
TEL (0743) 62-0378
編集責任 広報部

夏の祭典

こどもおぢばがえり開幕

詰所ではビュッフェやゲームコーナーも

7月27日から8月3日までの8日間にあたり、
こどもおぢばがえりが開催されている。

存命の教祖を慕って、国内はもとより海外各地
から親里に帰り集った子供たちが、ひのきしんに
汗を流し、生きる喜びを味わい、仲間と共に、お
ぢばでの思い出を育む。

「最高の夏が、キミを待っ
ている!」のキャッチコ
ピーのもと、7月27日に開
幕した立教188年こどもおぢ
ばがえり。親里は連日、帰っ
て来た子供たちで賑わいを
見せている。

「しこみ・ふせこみ行事」
では、廻廊ひのきしんや子
供向けの講話、おつとめの

鳴り物練習など、お道の教

えに親しむ行事が行われ、

「お楽しみ行事」では、「こ

ども横丁」や水鉄砲を使っ

たアトラクションなど、

様々な行事会場で子供たち

の笑顔が溢れている。

「生きるよろこびを味わい

ます」「ものを大切にしま

す」「仲良くたすけあいま

年間活動目標

今日を陽気に。
つながる、
つなげる。

す」の三つの約束を掲げ、
感謝とたすけあいの心が育
つよう様々な行事が催され
ているこどもおぢばがえり
は、8月3日までの開催。

本愛詰所でも お楽しみ企画盛況

少年会本愛団では、子供
たちが詰所に帰ってからも
楽しい時間を過ごすことが
できるよう、詰所で様々な



催し物を行っている。

昨年度大盛況だったビュッ
フェ形式での夕食を今年も
実施。費用は本部食と同じ
250円で、大人も子供も利用
できる。時間は午後5時か
ら午後7時まで。

また、詰所の2階講堂で
はゲームコーナーが設けら
れ、子供たちが自由に遊ぶ
ことができる。



8月のこよみ

入社祭

1日 午前10時

よふき会例会

2日 午前10時

月次祭

13日 午前10時

布教実修所

14日 午前10時

むつみ会例会

16日 午前10時

青年会・学生会合同例会

(於・三重県朝明)

17日 午前11時

鼓笛隊練習日

17日 午前10時

こども食堂MOGU

17日 午後5時

婦人会例会

20日 午前10時

こかん様に続く会

23〜24日

本部月次祭

26日 午前9時

習字のOKEIKO

華水教室

5週目を除く毎週木曜日

現代に生かす

「用木の道」

文・安藤吉人



主人公が、芸に身

をささげていく姿に

「自分は、何かに命

を懸けてやりきろう

と思って、今を生ぎ

ているだろうか」と

自問しました。毎日

おたすけや教会の御用につ

とめさせてもらっています

が、「命を懸けて取り組んで

いるか」と問われると、胸

を張ってそうは言えない部

分がある気がします。心を

引き締め直すきっかけにな

「虐待の疑いがある」

ところで、1ヶ月ほど前、

大教会の月次祭祭典後に、

児童相談所の方がお越しに



なったことがあります。

「代表の方とお話がした

い」とのこととお通しした

のですが、話を聞くと「お

宅で虐待の疑いがある」と

いうことでした。大変驚い

て詳しく話を聞いてみると、

大教会の会長宅から毎朝毎

晩子供泣き声が止まない

ということでした。特に末

っ子の芽生を見せてもらい

たいと先方がおっしゃって

いたときに、芽生がよろよ

ち歩きでニコニコしながら

会長室に入ってきて、「虐待

があるように見えません

ね」という話になりました。

会長宅は築70年で外にも

声が届くこえやすいので、そ

れが原因かと思ってお詫びを

したので、さらにもう

▷

な大人ですし、近隣の方も

昔から見守ってくださって

います。そう伝えたとこ

ろ先方も認識が誤っていた

ことで、無事にお引き取

りくださいました。

事なきを得たものの、そ

の後もその話題が出るた

びに、ついそんな通報をした

人のことを悪く思ってしまった

のがちな自分に気が付きま

した。でも、仮に悪口を言

ったとしたら「自分も必ず

悪口を言われている」でし

よう。こうしたこともきつ

と教祖が何かしらのメッ

セージを込めてなさってくだ

さっていることだと考え直

し、あらためて心を低くし

て、大教会の活動に理解を

くださっている近隣の方々に

▷

御礼を申し上げようと思

いました。

どんな事柄も心次第です。

「今日を陽気に」するため

の教祖のお計らいだと捉え

ていこうと思います。

(7月月次祭の挨拶より)

公式サイトとYouTubeをご活用ください！

こんなに便利



- 大教会の行事日程を確認
- 本愛誌最新号とバックナンバーをダウンロード
- その他お知らせ

楽しく学ぶ



天理教 本愛 Q 検索

- 祭典の様子をライブで視聴
- 大教会長の連載動画
- 神殿講話の限定配信

教理随想

言わん言えんの理を探る



今年の夏も厳しい暑さが続いています。そのために、つい愚痴や不足の言葉を口にしてしまいがちですが、お道の信仰者としてはここで、発汗によって自然に体温が保たれる有り難さや、暑い日に暑いと感じられる健康の有り難さをもう一度思い起こし、親神様のご守護に感謝する心を持つて通る日々が大切で、これが教祖ひながたの第一の要点であります。

さて、私たちは信仰の道を歩む中で、よく「理を立てる」という言葉を使いま

す。しかしその意味が本当に心に治まっているかどうか。もう一度考え直してみたいと思います。

「理」という言葉の意味は非常に幅広く、一言でまとめるのはたいへん難しいのですが、一つの悟りとして、「親神様がこの世を一分一厘の隙もなくご守護くだされているお働きの姿」であり、もつと簡単にいえば「親神様の働き」、これが理であるといえます。

地球を含めた宇宙全体の動き、また自分が今ここに生きているという事実。さらに足元に生える一本の草花に至るまで、この世はすべて天然自然の摂理、すなわち「天の理」によって生かされ守られています。し

かもそれは、ただ漫然と存在しているのではなく、一つ一つの事柄の中に親神様の思召がこめられている事実を知ることが重要で、「天の理」はこの世を生きる人間にとって、外すことのできない筋道であります。

一方、「立てる」という言葉は、「顔を立てる」「先輩を立てる」というように使います。つまり相手を敬う気持ちから、我が身よりも相手を優先させて扱うという意味です。このように考えていくと、自分の主義主張や性分を優先させて教えを二の次に考えたり、教えから外れた心使いをすることは「理を立てる」ことにはならず、「理を立てる」ためには、まず自分の心の

置き所を見つめ直す姿勢が肝腎となります。

■理と情

日常生活や仕事で、ある事柄を進めようとする時、そこに親神様のお働きをいただいて順調に事を進めたいという気持ちから、金銭の御供を添えて事の次第をお願いすることがあります。これを「理立て」と呼びますが、うっかりすると金銭の御供をするだけで安心してしまい、心の軌道修正を忘れていくことはないでしょうか。親神様は私たちの真心を受け取ってくださいから、自分がどれだけ教えに沿うように心を正しているかという姿勢が肝腎で、その努力がなければ親神様に働いていただくことはできないでしょう。

理という言葉は、一般にも真理、原理、定理などと呼ばれるように、絶対に動かず、変わることはないも

のです。それに対し、常に変化して、時に激しく揺れ動くものが情で、人情、愛情、感情などと使われます。信仰生活において、理と情はどちらも大切ですが、情に流れられて理を動かさうとしたり、あるいは情が極端に薄くなると、周囲に思わぬ難儀不自由の姿が現れてきます。これを、

なんぎずするものこゝろから わがみうらみである ほどに (十下り目7)

ですから、出来事の表面にとらわれず、そこに込められた親神様の思いの理の思案を深め、理に沿って我が心を柔軟に動かしながら、時句の実践を重ねていくことが我が身にご守護をいただく道となります。

日々の生活の中でもう一度我が身をふり返り、常に「理を立て切る」信仰の道を歩めるように努力を続けていきましょう。

【第127回】

我が心の置き所を確認し 天の理を立て切る信仰を

修養科生教養掛

第1006期

4月 大橋進 (本愛中)

山内昌恵 (本尾州)

5月 長尾誠 (本西部)

6月 水谷篤 (本海門)

渡邊真由美 (本愛福)

右の各氏が教養掛を務めた。

修養科第1006期修了者

立松大介 (本宏津)

原田哲朗 (本晃)

石井亜実 (本耀)

門田二三美 (本理愛)

金子明夢 (本愛岳)

6月のおさづけの理拝戴者

金子明夢 (本愛岳)

6月の初席者

品田祈翼 (本名)

磯村真吾 (本仁愛)

本田瑞稀 (本愛湊)

本愛大教会

公式ホームページ

をご活用ください！



青年会・学生会合同例会

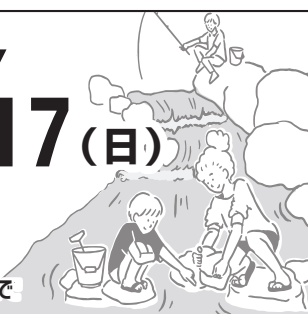
川遊び、BBQ (11:00 ~ 15:00・雨天中止)

場所：三重県三重郡菰野町 西山荘 (朝明ロッジ近く)

家族連れ也大歓迎！ 会に関係なく、どなたでもご参加いただけます！

ご家族との夏の思い出作りにご活用ください！ 詳細は青年会・安藤潤まで

8/17 (日)



大教会日誌

令和7年6月25日～令和7年7月24日

6月

26日 本部月次祭

30日 常任役員会議◇役員会議

7月

1日 入社祭

祭主 大教会長 扨者 山神茂彦、細川明

指図方 和光重男 賛者 杉下和平、大橋善太郎

◇祭典講話 津田豊郎

◇大教会長挨拶

2日 よふき会例会

おつとめ、十二下りてをどり、連絡会

12日 常任役員会議

13日 月次祭

祭主 大教会長 扨者 青木健裕、松浦道太郎

指図方 田中新一 賛者 佐藤幸一郎、野田正樹

◇祭典講話 吉田正信

◇大教会長挨拶

青年会例会

14日 布教実修所

16日 むつみ会例会

17日 こども食堂MOGU

20日 婦人会例会

21日 女子青年例会